

1 事業概要

(1) 実施日 平成26年7月26日(土)～27日(日)

(2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家 阿蘇火山博物館

(3) 参加者 小学生19名

(4) 事業内容

【7月26日(土)】

- 開会式
- 阿蘇火山博物館でのジオ学習
- 第1期生からのジオ指令「中岳火口・砂千里ヶ浜」
- 池辺館長によるカルデラ実験

【7月27日(日)】

- ジオ博士からのジオ指令「池山水源・荻岳展望所」
- ジオガイドマップ作り

2 成果と課題

(1) 成果

- 開会式後、4班(6年生、5年生をリーダーとした班)に分け、ジオガイドさんとアイスブレイキングをしたことにより、双方との交流を深める上で有効だった。
- ジオサイトに行き、ジオガイドさんに説明をもらうのではなく、第1期生を招聘し、第2期生候補の児童らに、指令(問題)を出し、解説を述べ、さらに、ジオガイドさんに詳細な話をしてもらった内容にしたことにより、昨年度学習した成果を出せただけでなく、第2期生候補の児童にその姿を見せることができ、とても有意義であった。
- 2日目に、阿蘇火山博物館の館長を「ジオ博士」として変装して登場してもらった。児童らは、ジオ博士の指令を、ジオガイドさんのサポートのもと、班内で解答を導き、代表者がみんなの前で発表することができた。その後、ジオ博士が詳細な解説を加えたので、ジオサイトについて理解することができた。
- 巡ったジオサイトについて、まとめたり、話し合ったりする時間を多く設けたので、ジオサイトマップ作りをスムーズに行うことができた。

課題

- 参加した19名の第2期生候補児童を、2回目(9/23)以降どのようにして招集するか考える必要がある。
- ジオサイトマップの完成に向け、児童の書くシートなどを工夫する必要がある。



【開会式】



【アイスブレイキングの様子】



【阿蘇火山博物館での様子】



【中岳火口でのジオ学習の様子】



【第1期生によるジオ指令】



【池辺館長によるカルデラ実験】



【ジオ博士によるジオ指令】



【ジオガイドマップ作りの様子】